

2026 - 27年度

国際ロータリー会長のメッセージ

「持続可能なインパクトを生み出そう」

● 設立 1964年3月2日

● 会長 高橋 豊

● 事務局 〒260 - 0027 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階 ☎043 - 245 - 3204

● 例会日 毎週金曜日 12時30分

● 幹事 赤峰 加功平

● 例会場 オークラ千葉ホテル

● 会報委員長 土谷 孝道

第2941回

2026年8月7日(金)

点鐘12:30 (曇り)

- ◆国歌斉唱 『君が代』
- ◆ロータリーソング『奉仕の理想』
- ◆四つのテスト

～言行はこれに照らしてから～

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

お客様紹介

本日はいらっしゃいませんでした。

会長報告及び挨拶 (高橋豊会長)

理事会報告がありました。



皆さんこんにちは。

広島原爆投下から、今年で81年だそうです。また、原爆ドームが世界遺産に登録されて30年経っているそうです。世界の平和を願いたいと思います。



委員会報告

- ◆社会奉仕委員会より (須田裕一委員長)
＜稲刈り体験のご案内＞
2026年8月30日(日)
- ◆ゴルフ同好会より (廻辰一郎会員)
8月25日に予定しております。

本日の卓話

2019-20年度ロータリー財団地区補助金奨学生 (流山ロータリークラブ推薦)

佐藤 鈴様

英国ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)に留学し、多文化共生、移民研究、政治哲学、他者理解を専門に学んだ。関心の原点には、中学時代の不登校経験や高校時代の米国交換留学がある。異なる人種、宗教、政治的価値観を持つ人々との生活を通じ、違いを超えて理解し合い、共に生きることへの関心を深めた。

LSEでは、移民を受け入れる社会と移民双方の視点から、反移民感情、文化の維持、差別や社会への適応、多文化共生のあり方を研究。卒業後は日本で民間企業勤務を経て、国連機関で人道支援の広報や生物多様性に関する業務に携わった。2024年にカナダ・モントリオールへ移住し、現在はコンコルディア大学博士課程で研究を続けている。

現在の主な研究対象は、フランス語圏であるケベック州の移民政策と多文化共生である。ケベックでは、移民を排除するのではなく、フランス語教育を手厚く支援し、移民自身を地域文化の新たな担い手として迎え入れることで、言語と文化を守ろうとしている。この仕組みに注目し、移民の言語習得や社会参加、「内と外」の境界について研究している。

国際理解や他者との共生は、理念として語ることは容易でも実践には多くの困難を伴う。だからこそ、異なる価値観を否定するのではなく、対話を続け、時には自らの価値基準そのものを見直すことが重要である。ロータリーの掲げる「国際理解・親善・平和」と自身の研究を重ねながら、今後も他者理解と共生の可能性を探究していく。

現在の研究内容

- ケベック州
 - カナダ唯一のフランス語圏
 - 移民を文化の担い手として受け入れる
 - 誰が「外」国人なのか曖昧な社会
- 移民研究
 - 移民の言語学習、社会参加、国民意識
 - (△移民管理や入国管理)

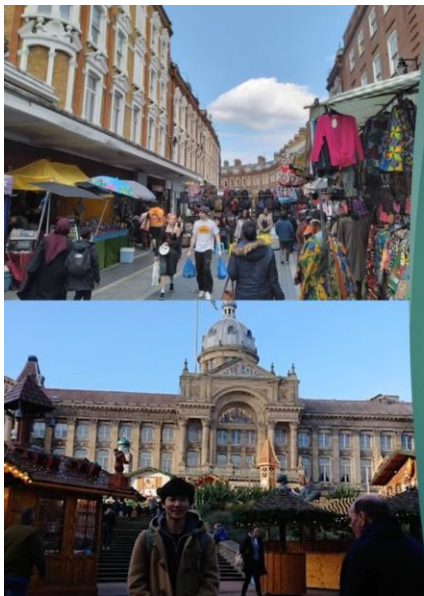


研究では、植民地主義が現代社会に残した影響を考察する「ポストコロニアリズム」を軸に、南アフリカにおけるアパルトヘイトの遺産と、人々が自由や尊厳を獲得していく過程を探究している。その研究をさらに深めるため、南アフリカと歴史的に深い関係を持ち、植民地主義への批判的研究が盛んな英国への留学を決意した。

留学中は学問だけでなく、ロータリーを通じた出会いが大きな財産となった。現地のラドレット・ロータリークラブとの交流や、世界各国の奨学生との出会いを通じ、英国の文化や社会を深く知るとともに、自らの研究を社会へ伝える責任を意識するようになった。こうした経験が「学生から研究者の卵へ」と成長する契機になったという。修士課程修了後も英国に滞在し、博士課程進学を目指しながら研究活動を継続。反アパルトヘイト運動に関する博物館設立への協力や国際学会での研究発表など、活動の場を広げている。ロータリーの支援によって、南アフリカで芽生えた好奇心を研究者という具体的な将来像へつなげることができた経験を胸に、今後も国、人種、言語の境界を越え、人間と社会への理解を深め、その成果を世界へ発信していくことを目指している。

2022-23年度ロータリー財団地区補助金奨学生（千葉ロータリークラブ推薦）
中島 士様

英国ロンドンのユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）修士課程でポストコロニアル研究を学んだ。研究の原点は、幼少期を南アフリカ・ヨハネスブルグで過ごした経験にある。アパルトヘイト廃止後も残る人種間の格差や社会の分断を目の当たりにし、人種や国、文化などの境界を越えて人々が共生できる社会のあり方に関心を深めた。



イギリスへ

- ・ 南アフリカとイギリス関係性
→ 歴史・日常の両面でのイギリスの存在
- ・ 学士でのイギリスへの交換留学（2019-2020）
→ 旧植民地からの移民、多様性、ブレイグジットに揺れるイギリス社会
- ・ 日本で（南部）アフリカを見ていくことの限界・問題点



《本日のニコニコボックス》

44,740円

<累計>179,240円

○高橋豊会長・赤峰加功平幹事

本日も例会参加、有難うございます。

先日は、「慰労激励会」にて激励をいただき、重ねて御礼申し上げます。皆様のご期待に応えるよう努力してまいります。楽しく、充実したロータリー活動を今年度もしてまいりましょう。

○五十嵐博章会員

社会奉仕委員会・須田委員長はじめ委員会のメンバーの方々はこれからイベントが続きますが、よろしくお願い致します。ニコニコボックスの資金が少し不足していますので、ニコニコ致します。

○今井太志直前会長、常世田正弘直前幹事

先日開催いただきました「慰労激励会」では、温かいお心遣いをいただき、誠に有難うございました。皆様と笑顔で一年間を振り返り、楽しい時間を共有できましたことに心より感謝申し上げます。

新たな一年も皆様とともに歩み高橋年度を盛り上げて行きましょう。いつも本当に有難うございます。

○鎌形俊裕会員

大変遅くなりましたが、前回のCSRゴルフ会参加の皆様よりのニコニコです。

○須田裕一会員

我が家の小学校2年生の三男が、先週、バク転に成功しました。3カ月前から練習開始、自ら研究して、自分の意志で「教室に通いたい」と妻にプレゼンして念願の初成功！

まだまだ出きたり出きなかったりですが、意思のある成功と成長は嬉しいものです。子どもの成長を願い、ニコニコさせていただきます。

○会長・幹事慰労激励会より

8月5日（水）、すし波奈にて新旧会長幹事「慰労激励会」を行いました。36名の会員の皆様にご参加いただきまして大盛会となりました。集めさせていただいた分から端数をニコニコさせていただきます。

皆様のご参加、有難うございました。

○吉田裕成会員・出井清会員・斎藤昌雄会員

新年度早々の「オープン懇親夜例会」は、大勢の会員と2名のお客様で大変盛り上がりしました。浦安港発着の屋形船は、初めてだったので、船から見える舞浜のイルミネーションや東京湾の夜景を楽しむことが出来ました。準備に当たられた國友親睦活動委員長、ご苦勞様でした。また、当日のお客様の一人である株式会社登戸の井上氏が入会申込書にサインされたという報告もあり、一段と盛り上がりしました。水野会員増強委員長、ご苦勞様でした。新会員になられる井上様からどんなお話が聞けるか、今から楽しみです。

8月度誕生日お祝い

金坂一儀会員、山本康永会員、岩原秀一会員
小林透会員、辰巳太兵衛会員、高橋豊会員

8月度結婚記念日お祝い

山本康永会員、酒井秀大会員

幹事報告

- ・次週14日は休会です。
- ・21日（金）は、駐車場が満車となる予定とのことです。

出席報告（会員数61名）

◆出席者数 42名
◆欠席者数 19名
◆ビジター 0名
◆修正出席率 7/24分 休会のため次回